

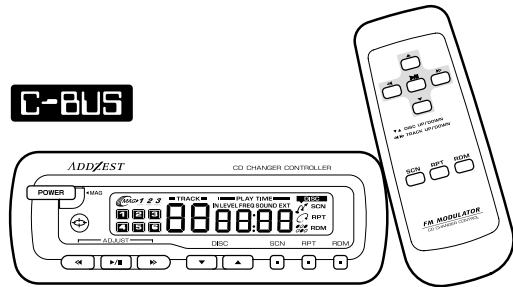


280-7341-00

CDチェンジャーコントローラー(FMモジュレーター)

FMC250

取扱説明書



このたびは、アゼストFMC250をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用していただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。保証書(別添)は、お買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

主な特長

ディスプレイユニット
付属のリモコンで遠隔操作ができます。スキャン、リピート、ランダムなどの多彩な機能もっています。ボタン操作によってインプットレベル、周波数、サウンド・エクステンドを調整することができます。

FMモジュレーター・コマンダー部
入力端子のないカステレオでも、FMチューナー付きであれば、CD/MDチェンジャーシステムが簡単に実現できます。CD/MDの出力レベルを、カステレオの出力レベルに合わせることで、インプットレベルコントロール付き。混信した時のために、周波数切り換えが出来る周波数コントロール機能付き。サウンド・エクステンド・セクターにより、クリアなCD/MDサウンドをお楽しみいただけます。FMモジュレーター・コマンダーとCD/MDチェンジャーの接続は、双方向通信方式(C-BUS)を採用しました。

アフターサービスについて

保証書.....
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店が所定事項を記入致しますので、記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間.....
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。

万一故障が発生した場合.....
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理.....
修理することにより性能維持ができる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は.....
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140(フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL.		
製造番号			

お客様へ.....ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると修理など依頼のときに便利です。

ご使用になる前に

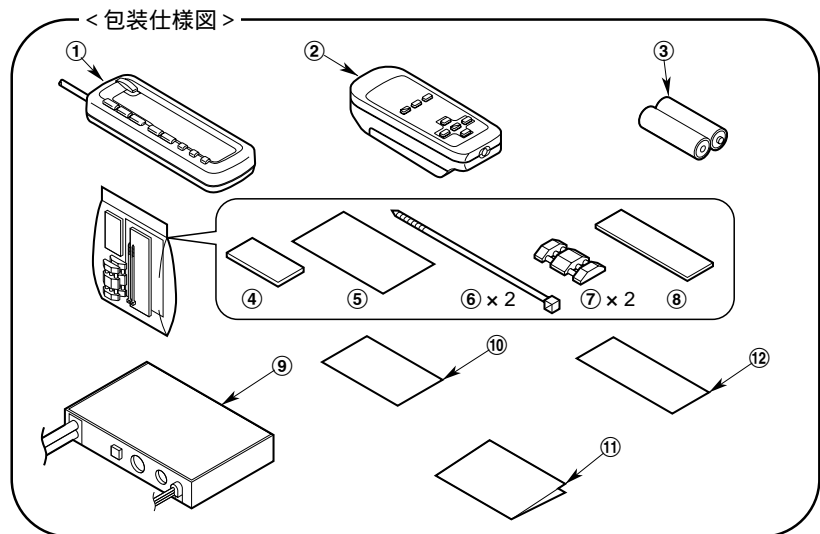
ご確認事項

- 本機は単体では動作しませんので、FM付きカステレオまたは純正ラジオ等と別販のCDチェンジャーまたはMDチェンジャー(C-BUSタイプ)を接続してご使用ください。なお、当社のリモートコントロール付き機器との組み合わせはできません。
- 本機と組み合わせになる、CDチェンジャーまたはMDチェンジャー(C-BUSタイプ)などの取扱説明書も合わせてご確認ください。指定以外の操作をすると、故障の原因となる場合があります。
- MDチェンジャー(C-BUSタイプ)を接続する場合、MDチェンジャー側の切換スイッチは A に合わせてください。また、本機ではMDのタイトルは表示しません。

取扱上のご注意

- システム動作中、ケーブルやコードの抜き差しは、故障の原因となりますので絶対におやめください。ケーブルやコードの抜き差しをするときは、必ず電源を切って「ACC-OFF」から行ってください。(ケーブルやコードを抜き差しした場合は、ディスプレイユニットの電源を1度OFFにしてから、再度ONにしてご使用ください。)
- FMモジュレーター・コマンダーおよびディスプレイユニットを落としたり、強い衝撃を与えると故障の原因となりますので、ご注意ください。

製品構成



- ①ディスプレイユニット 2個
- ②リモコン 1個
- ③単3電池(SUM-3) 2個
- ④マジャックテープ 1式
- ⑤両面テープ 1枚
- ⑥リードクランプ 2本
- ⑦エレクトロタップ 2個
- ⑧ラバーシート 1枚
- ⑨FMモジュレーター・コマンダー 1部
- ⑩保証書 1部
- ⑪取扱説明書 1部
- ⑫修理相談窓口リスト 1部

上記部品で構成されておりまして、よくお確かめください。

故障と思われる前に

現象	原因	処置
電源が入らない	誤配線または接続が不完全	配線をお確かめください。また、ケーブルをもう一度接続し直してください。
CDをサーチさせると「NO DISC」(ディスクなし)の表示がでる	マガジンのCDが裏返しに入っている CDが汚れている	CDチェンジャーの取扱説明書をよく読んで、CDを正しく入れ直してください。 CDの汚れをふき取ってください。
音が歪む	入力レベルが高すぎる	入力レベルコントロール調整で入力レベルを低くして下さい。<注>
高音が強調されすぎている	接続したカステレオによっては、高音が強調される場合がある	サウンド・エクスパンド調整で、ノーマルポジション(Low-level)に設定して下さい。<注>

<注>調整方法については、操作方法のajastモードを参照してください。

以上の確認を行っても同じ現象となる場合やマガジンが取り出せないときは、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

本システムはシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。障害が発生すると各種のエラー表示をしますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。

現象	処置
HHHH	チェンジャー内の温度が上がりがすぎたため、自動的に再生を停止させたときの表示 チェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ち下さい。
E r 2	チェンジャーメカニズムに障害(ディスクチェンジすることができない)が発生しているエラー表示 チェンジャーメカニズムの故障と思われるので販売店にご相談ください。
E r 3	CDチェンジャー再生中、傷ディスクなどのためにピックアップフォークスが合わないためのエラー表示 マガジン内のディスクを確認してください。
E r 4	チェンジャーとFMモジュレーター・コマンダーが正しく接続されていないことを知らせる表示 →自己電源を切り、正しく接続した後、パワーボタンの電源スイッチを1度OFFにしてから再度ONにして下さい。
E r 6	CDが裏返しに入っていたり、CDシングルディスクホルダーだけが入っている場合の表示 ディスクを確認してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。
	記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

安全のため、ご使用前に以下のご注意と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックス等)に必ず保管してください。

使用上のご注意

	警告 走行中は運転者による操作をしない... 運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
	本機を分解したり、改造しない... 事故や火災、感電の原因となります。
	音が出ないなどの故障状態で使用しない... 事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがあるなど異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する... そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
	ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する... 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
	本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する... 専門技術と経験が必要です。

	注意 運転中の音量は、車外の音が聴こえる程度で使用する... 車外の音が聴こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
	本機を車載用以外には使用しない... 感電やケガの原因となることがあります。
	樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない... 部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

電池使用上のご注意

	警告 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する... 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	注意 指定電池以外は使用しない... 電池の破裂・液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。
	電池を機器内に入挿する場合、極性(プラス端子⊕・マイナス端子⊖)に注意し、表示通りに入れる... 間違えると電池の破裂・液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない... 電池の破裂・液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
	電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、などと一緒に携帯または保管しない... 電池のプラス端子⊕・マイナス端子⊖間がショートし、電池の破裂・液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
	使用済みの電池は定められた場所に廃棄する...

取り付け及び配線作業をはじめる前に

	警告 取り付ける車のバッテリー電圧を確認する... 本機はDC12V車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。火災や故障などの原因となります。
	配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す... ショート事故による感電やケガの原因となります。
	本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する... 指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。

取付場所について

	警告 本機を次のような場所に取り付けけない... ・前方の視界を妨げる場所 ・ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所 ・同乗者に危険を及ぼす場所 運転操作を妨げたり、外れたりして、交通事故やケガの原因となります。
	エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない。また、接続コード類の配線にも十分注意する... エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。

	注意 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない... 本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
	振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない... 本機が外れて事故やケガの原因となることがあります。
	直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない... 本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取付上のご注意

	警告 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する... パイプ類などの破損により、火災や事故などの原因となります。
--	--

	注意 必ず付属の部品を指定通り使用する... 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
	車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する... 開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
	車体の重要保安部品(ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなど)に取り付けられているボルトやナットは絶対に使用しない... これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。
	車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける... ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

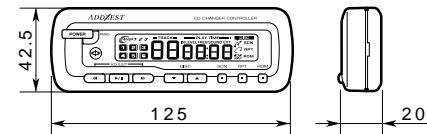
結線上的ご注意

	警告 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う... コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
	コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく... ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
	電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない... 電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
	車体のボルトやナットを使用してアースをとるときは、ステアリングやシートレール、ブレーキ系統などの重要保安部品のネジは使用しない... 事故や故障などの原因となります。

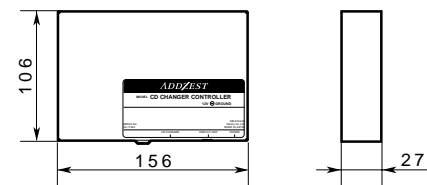
	注意 正規の接続をする... 誤った接続をすると、火災や事故の原因となることがあります。
	コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する... コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
	接続コード類は車側のコード類が束ねて配線されているところから十分に離す... ノイズが発生することにより、車体に悪影響を及ぼし、事故や故障の原因となることがあります。
	車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない... 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

仕様

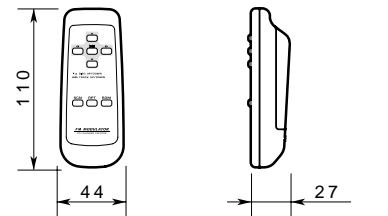
ディスプレイユニット部
外形寸法 : 125(W)×42.5(H)×20(D)mm
質量 : 140g



FMモジュレーター・コマンダー部
電源電圧 : 14.4V
接地方式 : ⊖GROUND
消費電流 : 3A以下
使用周波数 : 87.7MHz ~ 89.9MHz (0.2MHz ステップ12ポイント)
ヒューズ定格 : 3A
外形寸法 : 156(W)×106(H)×27(D)mm
質量 : 480g

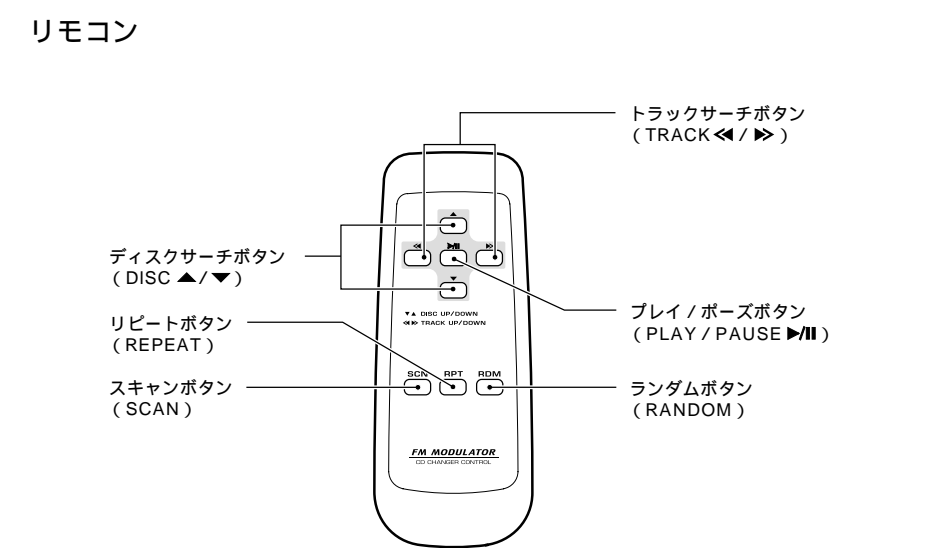


リモコン部
8キーワイヤレスリモコン
外形寸法 : 44(W)×110(H)×27(D)mm
質量 : 80g(電池含む)

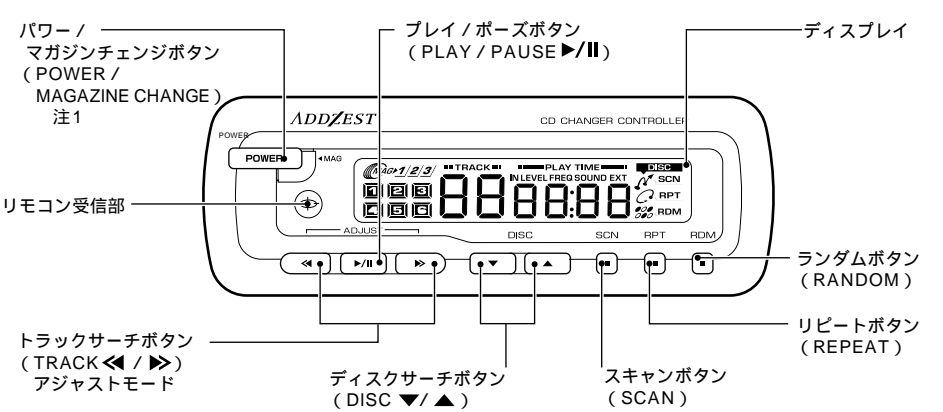


これらの定格及びデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

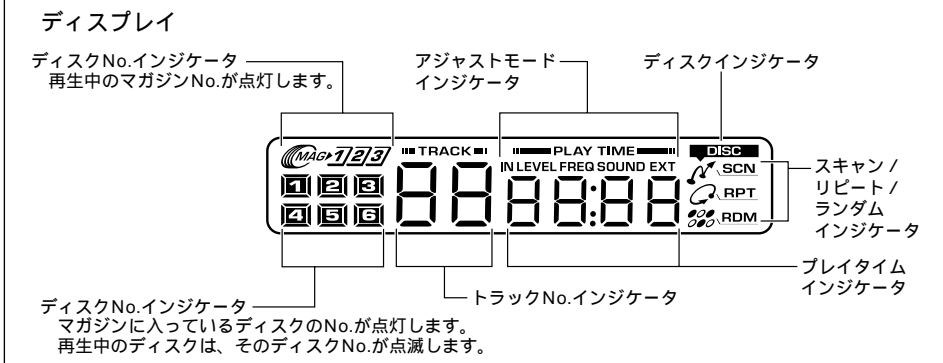
各部の名称



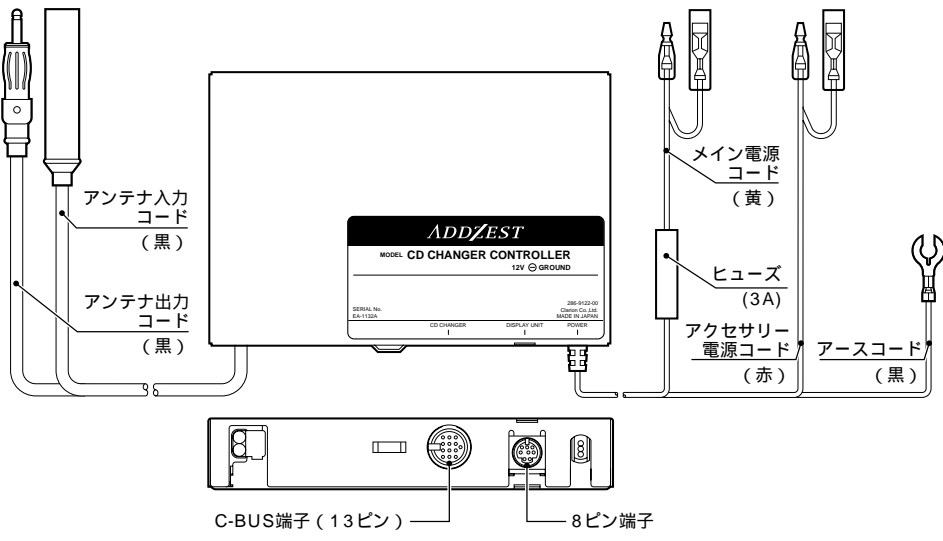
ディスプレイユニット



注1. 6ディスクチェンジャー接続の場合、マガジンチェンジを行いません。(パワー ON/OFFのみ) 別販12ディスクCDチェンジャー(CDC1235)等を接続したときに使用します。



FMモジュレーター・コマンダー



操作方法

ディスプレイユニット

CDを再生するには・・・
1. カーステレオの電源を入れ、FM周波数をFMモジュレーターの周波数に合わせて。

参考
カーステレオにプリセットメモリーがある場合はあらかじめFMモジュレーターの周波数をプリセットしておくとう便利です。

- ディスプレイユニットの電源を入れます。
 - この時、必ずカーステレオのFM周波数をFMモジュレーターの周波数に合わせてからディスプレイユニットの電源を入れてください。
 - 先にディスプレイユニットの電源を入れると雑音が入る場合があります。
- 音量調節はカーステレオ側で行います。
 - CDチェンジャーにマガジンがない場合は、「dISC」を表示(点滅)します。
 - CDチェンジャーにマガジンを挿入すると、ディスクチェックを行います。ディスクチェック中は、ディスプレイに「LOAD」を表示し、再生を一時停止します。

電源を入れるには・・・
・パワー/マガジンチェンジボタン(POWER) パワーボタンを押すと電源が入り、イルミネーションが点灯します。再度パワーボタンを押すと電源が切れます。

ラジオに切り換えるには・・・
・パワーボタンを1秒以上長押しして電源を切り、カーステレオの周波数をお好みの局に合わせて。
・電源を切ると雑音が入る場合がありますので、カーステレオの音量を下げてから電源を切るようにしてください。
・CDをお聞きにならないときは、ディスプレイユニットの電源を切るようにしてください。電源が入ったままですと雑音が入り、ラジオ放送が聴きにくくなります。

一時停止するには・・・
・プレイ/ポーズボタン(▶/⏸) プレイ/ポーズボタンを押すたびに、再生/一時停止を繰り返します。

選曲するには・・・
・トラックサーチボタン(◀/▶) アップボタン(▶)を押すと曲番が進み(トラックNo.が増える)、ダウンボタン(◀)を押すと曲番が戻り(トラックNo.が減る)ます。トラックNo.は、ディスプレイに表示されます。

ディスク(マガジン)の切り換えかた・・・
・ディスクサーチボタン(▼/▲) アップボタン(▲)を押すと次のディスクへ、ダウンボタン(▼)を押すと前のディスクへ移ります。別販12ディスクCDチェンジャーなどを接続した場合、パワー/マガジンチェンジボタンを押すたびに、CDチェンジャーのマガジンを切り換えます。

便利なスキャン/リピート/ランダム機能・・・
・スキャンボタン(SCN) スキャンボタンを1秒未満で押すとトラックスキャン、1秒以上長押しするとディスクスキャンになります。スキャン状態で再度スキャンボタンを押すと通常プレイに戻ります。

聴きたい曲を探す・・・
トラックスキャンにすると順送りで約10秒間ずつ曲を再生します。ディスプレイには「SCN」が点灯します。

聴きたいディスクを探す・・・
ディスクスキャンにすると、順送りでディスクの最初の曲を約10秒間ずつ再生します。ディスプレイには「DISC」と「SCN」が点灯します。

リピートボタン(RPT) リピートボタンを1秒未満で押すとトラックリピート、1秒以上長押しするとディスクリピートになります。リピート状態で再度を押すと通常プレイに戻ります。

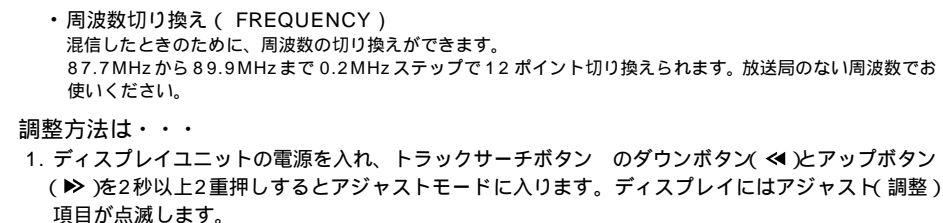
何度も繰り返し聴く・・・
トラックリピートにすると再生中の曲を繰り返し再生します。ディスプレイには「RPT」が点灯します。

ランダムボタン(RDM) ランダムボタンを1秒未満で押すとトラックランダム、1秒以上長押しするとディスクランダムになります。ランダム状態で再度を押すと通常プレイに戻ります。

何度が聴いたアルバムも・・・曲順が違ふと新し!!
トラックランダムにすると再生中のディスクの曲を任意の順で繰り返し再生します。ディスプレイには「RDM」が点灯します。

今日はドライブ・・・次はどの曲が流れるか楽しみ!
ディスクランダムにすると、CDチェンジャーに入れている全てのCDから任意の曲を選び出し再生します。ディスプレイには「DISC」と「RDM」が点灯します。

調整方法は・・・
1. ディスプレイユニットの電源を入れ、トラックサーチボタンのダウンボタン(▶)を2秒以上2重押しするとアジャストモードに入ります。ディスプレイにはアジャスト(調整)項目が点滅します。



- この状態でトラックサーチボタンのダウンボタン(▶)か、アップボタン(▶)を押すとアジャスト(調整)項目が切り換わります。
- 次にディスクサーチボタンのダウンボタン(▶)かアップボタン(▲)を押すとアジャスト(調整)項目のパラメータが切り換わります。
- 調整終了後、プレイ/ポーズボタンを押すと通常プレイに戻ります。

リモコンの取扱方法

使用上のご注意とお願い

リモコンの送信部に直射日光が当たっていると、リモコンで操作できない場合があります。このようなときは、直射日光をさえぎってから操作してください。

ご注意
リモコンを高温になる場所に、放置しないでください。故障や変形の原因となります。

リモコンの送信部は、上下左右30°の範囲内で、受信部に向けて操作してください。

ディスク切り換えなどの動作中は、反応が悪くなる場合があります。このようなときは、もう1度ボタンを押してください。

電池の入れかた

リモコンの裏側のフタを押しながら、矢印の方向にスライドさせます。
単3電池(SUM-3)2個を、⊕⊖の向きに注意して入れます。
カチッと音がするまでスライドさせ、裏フタを閉めます。

電池について

電池は使い方を誤ると、液もれや破裂の原因となりますので、「安全に正しくお使いいただくために」の項の「電池使用上のご注意」の注意事項をお守りください。

取り付け及び結線上的ご注意

取り付け

- 取り付けの際は、本機と組み合わせになるCDやMDチェンジャーなどの取付説明書も、合わせてご確認ください。指定以外の方法で取り付けをすと故障の原因となる場合があります。
- ダッシュボード等に穴を開ける場合は、裏側にハーネス等のないことを確かめてから、作業してください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

結線

*コードの引き回しは、以下の点に注意して行ってください。

- 1.13ピンC-BUSケーブルの接続は、根元で確実に差し込んでください。接続後、ケーブルはリードクランプで固定してください。
2. 結線終了後は、リードクランプや絶縁テープでケーブルがたるまないように固定してください。

3. アンテナ端子の接続は奥まで差し込み、確実に接続してください。形状により完全に差し込めない場合は、ビニールテープなどで補強し、確実に接続してください。
4. キボシの接続は、オス、メスがロックするまで差し込んでください。

5. ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換をしてください。本機のメイン電源コード(黄色)と接続している車側の電源コードを抜きます。結線が正しいか確認してください。確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

警告
車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。

ご注意
ヒューズを交換するときは、3Aのヒューズを入れてください。入れ間違えると故障の原因となりますので、ヒューズ容量をよくお確かめのうえ、交換してください。

取付方法

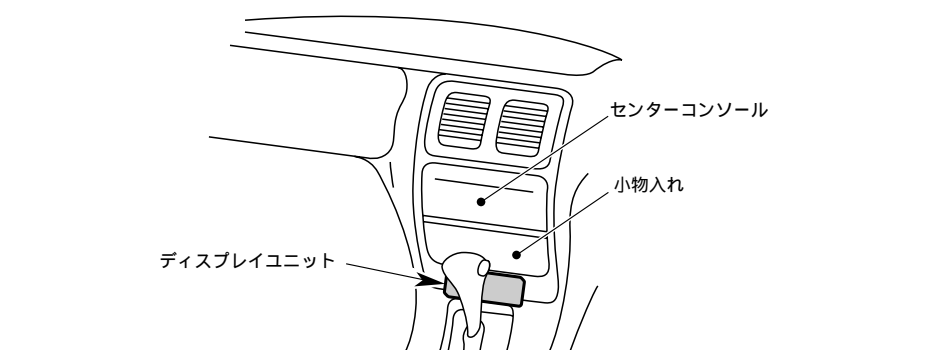
ディスプレイユニット

取り付け場所
小物入れなどに置くか、センターコンソールなどに貼り付けてください。
*運転の妨げにならず、リモコンの信号が受信できる位置を選んでください。

取り付けかた
ディスプレイユニットの取り付けは、付属のラバーシートを貼り付けて固定します。
*貼り付ける面の汚れを拭き取ってから貼り付けてください。

ご注意

本機を高温になる恐れのある場所(ダッシュボードなど)に放置しないでください。変形・故障の原因になります。



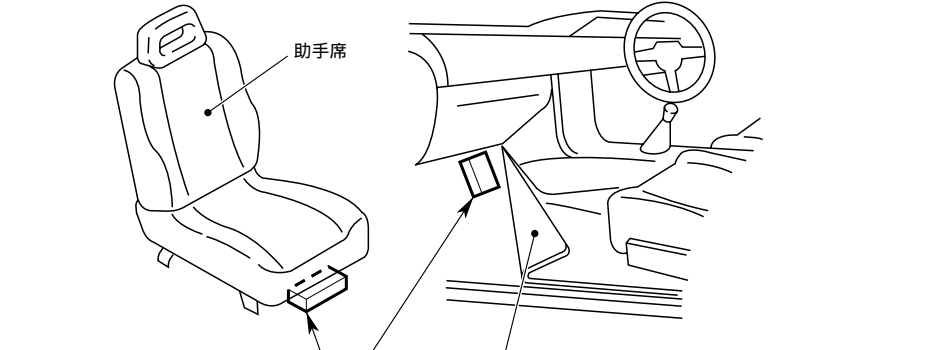
FMモジュレーター・コマンダー

取り付け場所

助手席の下や足元の奥などに取り付けてください。

取り付けかた

FMモジュレーター・コマンダーの取り付けは、付属の両面テープを貼り付けて固定します。
*コードは、運転の妨げにならないように付属のリードクランプ等で固定してください。

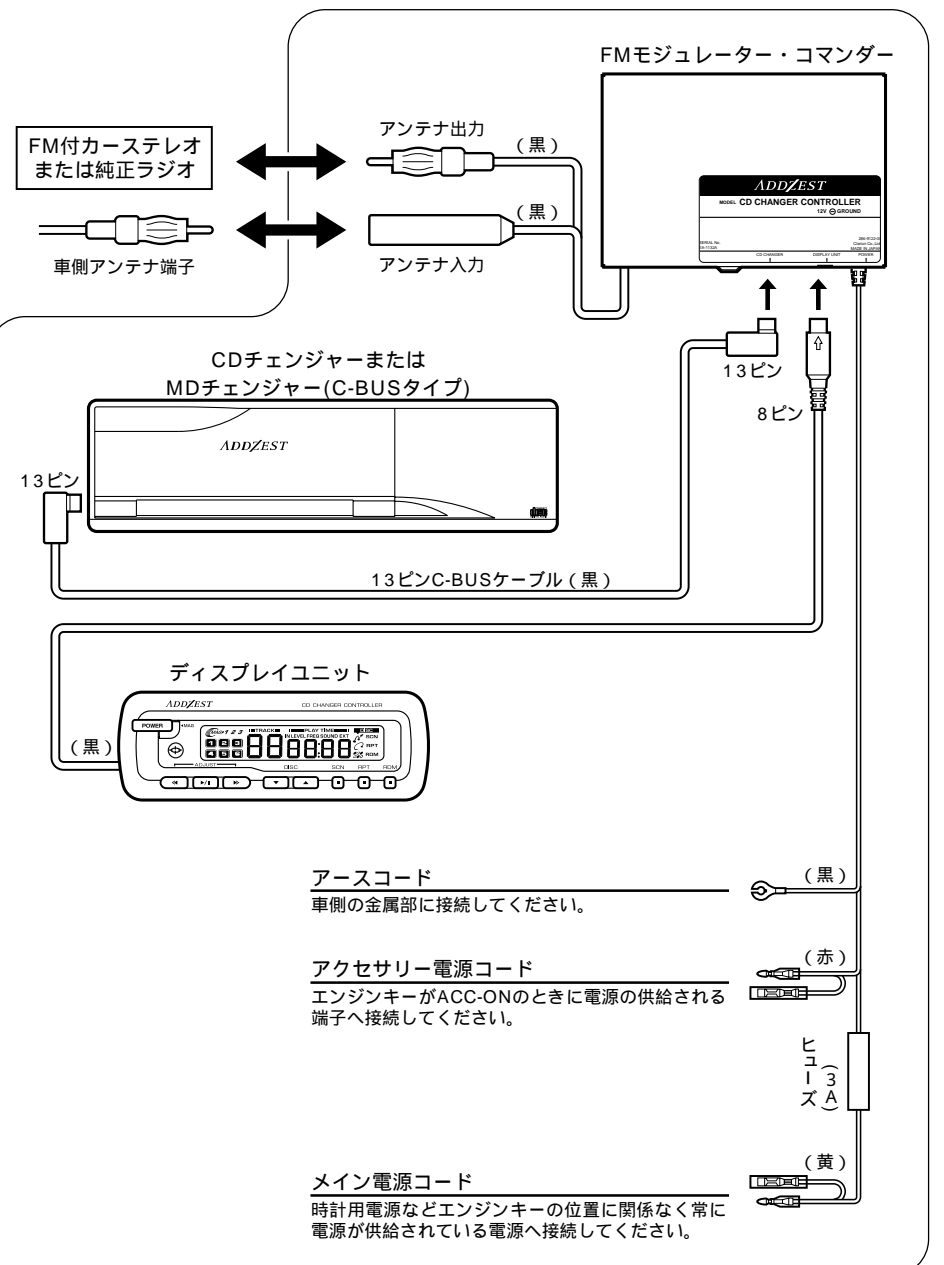


ご注意

取り付け場所によってノイズが入る場合は、FMモジュレーター・コマンダーの取り付け場所を変えてください。

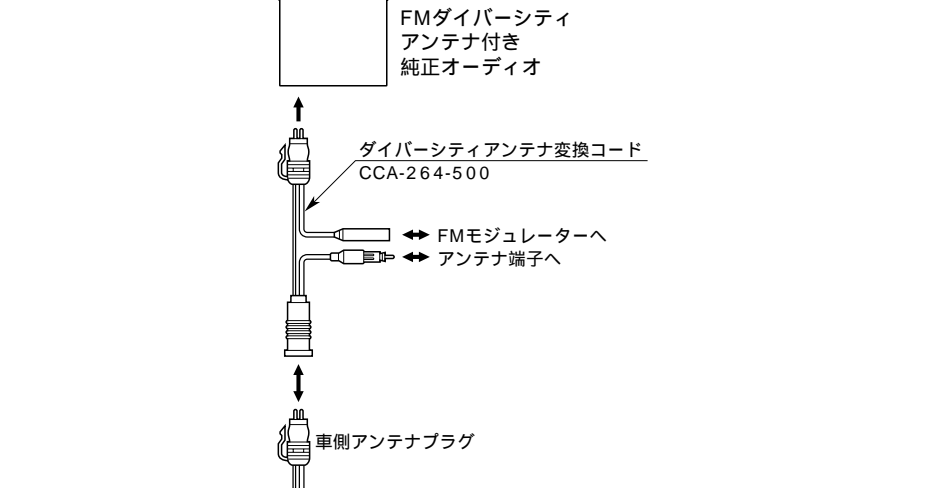
結線方法

結線のときは、それぞれの取付方法や製品構成をご確認のうえ、接続してください。



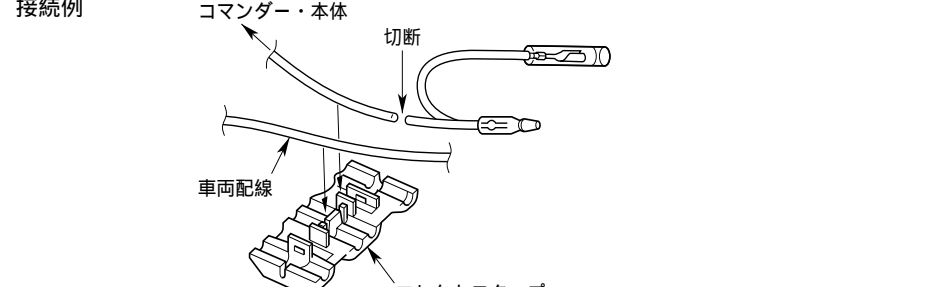
日産車のFMダイバーシティアンテナ付き純正オーディオの場合

別販品CCA-264-500をお買い求めのうえ、下図のように接続してください。



アクセサリ電源(ACC)、メイン電源(バックアップ)の接続

FMモジュレーター・コマンダー本体の電源端子が車側の端子と接続できない場合は、図のように、端子部分を切断し、付属のエレクトロタップで結線してください。



ご案内

別販の中継コードキットを使用すると、アクセサリ電源、メイン電源の配線が確実にできます。

- トヨタ車用中継コードキット CCA-262-110
- 日産車用中継コードキット CCA-130-110
- CCA-375-510